

平成28年第4回国立大学法人旭川医科大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 : 平成28年12月14日(水) 15:25～
2. 場 所 : 第二会議室
3. 出席者 : 吉田 晃敏学長, 松野 丈夫理事, 井上 久志理事, 平田 哲副学長,
表 憲章委員, 宮間 利一委員, 宮本 光明委員
4. 欠席者 : 原田 直彦委員, 房川 樹芳委員
5. 陪席者 : 鈴木 義幸監事, 高野 一夫監事, 太田 貢学長政策推進室長, 坂口事務局長,
土岐総務部長, 千葉病院事務部長, 小出教務部長, 大関監査室長, 三浦総務課長,
滝本企画評価課長, 綿矢会計課長, 藤井施設課長, 沼館医療支援課長, 高見学生支
援課長

議事に先立ち、学長から、平成28年第3回(平成28年6月21日開催)経営協議会の議事要旨が諮られ、これが了承された。

議 題

1. 平成28年度補正予算及び平成29年度以降の財務シミュレーションについて

本件について、学長から発議があり、次いで、綿矢会計課長より財務シミュレーションについて、資料1-1に基づき説明があった。

引き続き、学長から資料1-2に基づき、次のとおり説明があった。

平成28年度の人事院勧告については、昨年と同様3月からの実施を考えていること。

平成27年度の人事院勧告の凍結分については、減額期間中は凍結するとしていること。

平成29年6月末までの予定であった特例減額を平成29年3月で終了し、4月から正常な状態に戻したいと考えていること。

人事院勧告対応及び特例減額の終了により、32年度、33年度は単年度収支でマイナスとなるシミュレーションとなっているが、収入・支出とも相当厳しい条件で設定しているので、十分にプラスに転じる要素があること。

次いで、学長から資料1-3に基づき、次のとおり説明があった。

病院の医療機器等について、これまで整備を見送っていたが、予算の範囲内で、更新を行うこと。

平成28年度中に各診療科等から病院長のところへ、約30余りの医療機器の購入要望があり、それを病院長の方で収益性、老朽対策を考慮し優先順位を付し、予算の範囲で選考したものであること。

審議の結果、原案のとおり、了承された。

2. 職員給与規程の一部改正について

本件について、学長から発議があり、次いで、三浦総務課長より議題1で了承された職員給与改正に基づく、職員給与規程の一部改正について、資料2-1~17に基づき説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

3. 平成29年度以降の特定業務職員（診療報酬担当職員（入院））の導入等について

本件について、学長から発議があり、次いで、沼舘医療支援課長より平成29年度以降の特定業務職員（診療報酬担当職員）（入院）の導入等の内容について資料3-1~4に基づき説明があり、引き続き、三浦総務課長より特定業務職員の導入に伴う関係規程について、資料3-5~9に基づき説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

報告事項

1. 学長報告

学長から、次のとおり報告があった。

(1) 診療従事等教員特別手当等の支給について

12月期に支給する「診療従事等教員特別手当」及び「診療特別手当」については、本学の財政事情を踏まえ、6月期と同様に支給しないこと。

なお、このことは、12月2日付けで支給対象職員に文書で通知していること。

(2) 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について

国立大学法人評価委員会から、「平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果」について、平成28年11月15日付けの文書で通知があったこと。

次いで、滝本企画広報評価課長から、資料4-1~3に基づき、平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果についての報告があった。

引き続き、今回の評価結果を踏まえ、今後とも執行部一丸となって大学運営に当たるので、協力願いたい旨学長から付言があった。

(3) 平成28年度 予算執行状況について

綿矢会計課長から、資料5-1~2に基づき、平成28年度10月までの予算執行額及び平成28年度資金繰りについて説明があった。

(4) 寄附金、受託研究、共同研究の受入れについて

平成28年6月~11月分の寄附金受入状況については、資料6-1のとおりであること。

また、平成28年4月~11月末日までに受入れを決定した受託研究及び共同研究については、資料6-2~3のとおりであること。

(5) 環境報告書2016について

藤井施設課長から、資料7に基づき、次のとおり説明があった。

環境報告書は、環境配慮促進法により、事業年度ごとに毎年9月末日までに公表することが義務付けられており、平成18年度から毎年ホームページで公表していること。

「環境報告書2016」についても、これまで同様、環境方針や実施計画、環境への取組状況、事業活動に伴う環境負荷等を記載していること。

本報告書は既に本学ホームページに掲載し、公表していること。

(6) エネルギー使用量について

藤井施設課長から、資料8に基づき、平成28年10月末現在（上下水道については平成28年9月末現在）の病院を含めた全学のエネルギー使用量及び使用料金についての説明があった。

(7) 旭川医科大学基金の創設について

本件については、10月1日から、旭川医科大学基金を創設し、卒業生、学生の保護者、企業、医療機関などへ趣意書とパンフレットを配布しており、併せてホームページで広報するなどの募集活動を開始したこと。

12月からは、クレジットカードとコンビニエンスストアでの払込にも対応したこと。

これまでの旭川医科大学基金への寄附の受入状況は、11月末現在で、97件1,190万円であること。

今後は、視覚に訴えるためのビデオの作成を進めるなど、寄附の動機付けを高めるような方策を立て、安定した財政基盤の確立のため、さらなる寄附の獲得に向け、広く募集活動を展開していくこと。

2. その他

- ・学長から、次回の経営協議会は、日程調整の上開催する予定である旨の報告があった。

以上